

# 1級満点 努力の証し

珠算・電卓実務検定 県内2人快挙

遠野緑峰高情報処理科の千田彩華さんと、宮古商工高総合ビジネス科の佐々木陽菜さん(ともに2年)は、第142回珠算・電卓実務検定試験(全国商業高校協会主催)で1級満点合格を達成した。県内の合格者293人中、満点は2人のみだった。掛け算、割り算、見取り算などの普通計算と、売買などの商取引に関わるビジネス計算をミスなくこなした2人は努力の結実を喜び、次の目標へ自信を深めている。

宮古商工高・佐々木陽菜さん

## スキル向上、初挑戦実る



「手応えがなかったので信じられなかった」と満点合格に驚く佐々木陽菜さん

初受験で快挙を達成した佐々木さんは「練習でも満点は取れず、信じられない」と驚く。検定当日は「緊張せず自分のペースでできた」と振り返り、高難度のビジネス計算に余裕を持って取り組んだことが功を奏した。

中学時代は卓球部で東北大会に出場したが、高校進学を機にラケットを置いた。「勉強が苦手なの

で、高校では就職に役立つ資格を取りたい」と資格勉強に専念している。

簿記競技にも取り組み、昨年10月の東北高校対抗簿記交流大会は団体優勝に貢献。個人7位入賞を果たすなど計算スキルの向上は著しく、「普段から電卓を早く打てるようになった。卒業後は公認会計士を目指したい」と力を込める。

## 光る集中力、夢へまい進



「進学し、経済や経営を学びたい」と意気込む千田彩華さん

千田さんは、就事前にも過去問を解くことを日課とし、問題の傾向分析を重ねた。「やり始めると熱中するタイプ」と持ち前の集中力を發揮し、スピードと正確さに磨きをかけた。

高校入学後に、資格取得の面白さに目覚めた。日商簿記2級を7月に取得。今後もビジネス関係の各種検定の受験を控え「努力が形

として見えることがうれしい」と意欲的だ。

入学前は高校卒業後の就職を考えていたが、今の目標は「国公立大学に進学し、経済や経営の学びを深める」ことになった。「資格を一つ得るたびに、新しい世界が広がっていく。大学に進んでいろんな可能性を追求したい」と飽きない向上心で、将来を見据える。

遠野緑峰高・千田 彩華さん